

申立ての内容	申立てへの対応
<p><b>【評価項目】</b> 1 全体評価</p> <p><b>【原文】</b> 一方、年度計画に掲げている共同研究、受託研究、奨学寄附金等の外部資金の獲得促進を図ることについては、外部資金額及び件数が増加するまでには至っていないことから、着実な取組が求められる。</p> <p><b>【申立内容】</b> 削除願いたい。</p> <p><b>【理由】</b> 後述の「2項目別評価 (2) 財務内容の改善」の申立てに関連して、削除をお願いするものである。</p>	<p><b>【対応】</b> 原案のとおりとする。</p> <p><b>【理由】</b> 年度計画では、「共同研究、受託研究、奨学寄附金等の外部資金の獲得促進を図るため、「研究紹介集(シーズ集)2009-2010」、産学官連携ガイド等を作成し、学外関係機関に広く配付する。」としており、研究シーズを積極的に広報していることや、外部資金の獲得に向けた取組を行っていることは理解するが、外部資金額及び件数が増加するまでには至っていないため。</p>

申立ての内容	申立てへの対応
<p><b>【評価項目】</b> 2 項目別評価 (2) 財務内容の改善</p> <p><b>【原文】</b> 平成21年度の実績のうち、下記の事項に課題がある。</p> <p>(法人による自己評価と評価委員会の評価が異なる事項) ○「共同研究、受託研究、奨学寄附金等の外部資金の獲得促進を図るため、「研究紹介集(シーズ集)2009-2010」、産学官連携ガイド等を作成し、学外関係機関に広く配付する。」(実績報告書24頁・年度計画【5-22-10】)については、外部資金額及び件数が増加するまでには至っていないことから、年度計画を十分には実施していないものと認められる。</p> <p><b>【申立内容】</b> 削除し、評価の再考を願いたい。</p> <p><b>【理由】</b> 1) 5-22-10の実施状況(報告書24頁)に記載されているように、法人化後の大学承継知的財産16件中、21年度だけでも7件あるにもかかわらず全く評価されていない。今後の外部資金導入につながる大きな成果であり、特許権の獲得につながる大きなシーズである。 2) 総人件費削減による職員数の削減にもかかわらず申請件数は対前年比だけでも16%は増加しており、獲得への努力は十分に行っている。このような努力は、科学研究費補助金の採択件数の増加に</p>	<p><b>【対応】</b> 意見を踏まえ、「財務内容の改善に関する目標」の評定を下記のとおり修正する。</p> <p>『<b>【評定】</b>中期目標・中期計画の達成に向けて<u>おおむね順調に進んでいる</u> (理由)年度計画の記載9事項中8事項が「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められるが、1事項について「年度計画を十分には実施していない」と認められるものの、<u>大学承継知的財産の獲得状況等を総合的に勘案したことによる。</u></p> <p><b>【理由】</b> 年度計画では、「共同研究、受託研究、奨学寄附金等の外部資金の獲得促進を図るため、「研究紹介集(シーズ集)2009-2010」、産学官連携ガイド等を作成し、学外関係機関に広く配付する。」としており、研究シーズを積極的に広報していることや、外部資金の獲得に向けた取組を行っていることは理解するが、外部資金額及び件数が増加するまでには至っていないため。 なお、理由1)のうち、平成21年度で大学承継知的財産を7件獲得したことは、法人から提出された資料からは明確な説明がないが、申立理由の内容を勘案した。</p>

も反映されており、資金獲得への取組は十分に行っている。特に科学研究費補助金に関しては申請資格の弾力的な運用、外部資金導入促進の為の研究環境の担保等の見直しを行っている。

- 3) 低迷しているわが国の経済状況を反映して、企業等の募集件数、JSTをはじめとする公的機関の課題事業件数の減少（いわゆるGPはその例である）など、外的要因に帰因する部分が多いと思われる部分もあり、このような点を考慮した評価を願いたい。

- 以上の理由により、「【評定】中期目標・中期計画の達成に向けてやや遅れている」については、受入難く再度御検討願いたい。